

2022年度 大学院経営管理教育部（専門職学位課程）

入学試験問題（一般選抜）

【会 計 学】

第1問

企業結合会計について、以下の設問全てに答えなさい。

- (1) 企業結合時の会計処理であるパーチェス法と持分プーリング法とは何か。それぞれ、企業結合がどのような経済的実態を有している時に適合する処理であるのかに言及しつつ説明しなさい。
- (2) パーチェス法において、「のれん」および「負ののれん」はそれぞれどのような時に発生するか。簡潔に説明しなさい。
- (3) のれんの会計処理として、(a) 一定期間内で規則的な償却を行う必要があるとの考え方と、(b) 規則的償却は行わず、減損会計の適用によって対処しようとする考え方がある。のれんの源泉が何であるかに言及しつつ、(a)、(b)それぞれの見解の根拠を説明しなさい。
- (4) 負ののれんの会計処理として、(c) 発生時に利益計上するべきとの考え方と、(d) 負債計上したうえで規則的償却を行う必要があるとの考え方がある。負ののれんの発生原因に言及しつつ、(c)、(d)それぞれの見解の根拠を説明しなさい。

2022年度 大学院経営管理教育部（専門職学位課程）

入学試験問題（一般選抜）

【会 計 学】

第2問

責任会計(responsibility accounting)について、以下の設問全てに答えなさい。

- (1) 責任会計制度について、下記の語句をすべて用いて説明しなさい。

管理責任者 会計システム上の数値 業績 責任センター

- (2) 責任会計制度の設計における重要な考え方として、管理可能性原則がある。管理可能性原則の考え方について説明しなさい。

- (3) 職能部門別組織を採用している企業において、製造部を原価センターとする場合と、利益センターとする場合を比較して、モニタリングコストや動機付けにどのような相違が生じると考えられるか、管理可能性原則に言及しつつ論じなさい。